様式第十六号の五（三）（表面）を次のように改める。

■ 様式第１６号の５（３）（表面）　労働者災害補償保険

通勤災害用　　第　回

療養給付たる療養の費用請求書（同一傷病分）

標準字体

0	5	ア	カ	サ	タ	ナ	ハ	マ	ヤ	ラ	ワ
1	6	イ	キ	シ	チ	ニ	ヒ	ミ		リ	ン
2	7	ウ	ク	ス	ツ	ヌ	フ	ム	ユ	ル	〃
3	8	エ	ケ	セ	テ	ネ	ヘ	メ		レ	°
4	9	オ	コ	ソ	ト	ノ	ホ	モ	ヨ	ロ	ー

○濁点、半濁点は一文字として書いてください。

(例) カ〃ハ°

柔

帳票種別 ※34252　①管轄局署　②業通別 3（1業 3通）

③労働保険番号（府県・所掌・管轄・基幹番号・枝番号）　④年金証書の番号（管轄局・種別・西暦年・番号）

⑤労働者の性別（1男 3女）　⑥労働者の生年月日（1明 3大 5昭 7平 捨 正 和 成　元号 年 月 日）　⑦負傷又は発病年月日（和暦年 月 日）

⑧受付年月日 ※

⑨労働者の　シメイ（カタカナ）：姓と名の間は１文字あけて記入してください。

氏名　（　歳）　㉖郵便番号 ―

住所

職種

⑩三者コード（1自 3労 5他）　⑪委任未支給（1委任 3未支給 7柔整）　⑫特別加入者　⑬審査コード

⑭金融機関コード　金融機関　店舗

⑮郵便局コード ※

下の欄及び⑯から⑲までの欄は、口座を新規に届け出る場合、又は、届け出た口座を変更する場合のみ記入してください。

新規・変更

振込を希望する金融機関の名称　銀行・金庫 農協・漁協 信組　本店・本所 出張所 支店・支所

口座名義人

⑯預金の種類（1普通 3当座）　⑰口座番号又は記号番号（左ツメ）

メイギニン（カタカナ）：姓と名の間は１文字あけて記入してください。

⑱

（つづき）メイギニン（カタカナ）

⑲

⑨の者については⑦並びに裏面の㋐（通常の通勤の経路及び方法に限る。）㋑、㋒、㋓、㋔、㋕、㋖及び㋗に記載したとおりであることを証明します。

年　月　日

事業の名称　電話番号（局番）

郵便番号 ―

事業場の所在地

事業主の氏名　㊞

（法人その他の団体であるときはその名称及び代表者の氏名）

〔注意〕 1　事業主は裏面の㋐、㋑及び㋒については、知り得なかった場合には証明する必要がないので、知り得なかった事項の符号を消してください。
2　派遣労働者について、療養給付のみの請求がなされる場合にあっては、派遣先事業主は、派遣元事業主が証明する事項の記載内容が事実と相違ない旨裏面に記載してください。

柔道整復師の証明

⑨の者については、㋑から㋒まで及び㋓に記載したとおりであることを証明します。

年　月　日　施術所の　名称　郵便番号 ―　電話番号（局番）　住所　氏名　印

療養の内容　㋑期間　年　月　日から　年　月　日まで　日間　施術実日数　日

㋐傷病の部位及び傷病名

㋒傷病の経過の概要

年　月　日　治ゆ・継続中・転医・中止

⑳指定・指名番号（府県・種別・一連番号）

㉑療養に要した費用の額（内訳裏面のとおり。）（千万 百万 十万 万 千 百 十 円）

※ ㉒療養期間の初日（年 月 日）から　㉓療養期間の末日（年 月 日）まで　㉔施術実日数　日　㉕転帰事由（1治ゆ 3継続 5転医 7中止）

上記により療養給付たる療養の費用の支給を請求します。

年　月　日

請求人の　郵便番号 ―　電話（局番）

住所（　方）

氏名　印

労働基準監督署長　殿

（注意）一、記入枠の部分は、必ず黒のボールペンを使用し、様式右上に記載された「標準字体」にならって、枠からはみださないように大きめのカタカナ及びアラビア数字で明りょうに記載してください。
二、記載すべき事項のない欄又は記入枠は、空欄のままとし、事項を選択する場合には該当事項を○で囲んでください。（ただし、⑤、⑥及び⑯欄については該当番号を記入枠に記入してください。）
三、□□□で表示された枠（以下、記入枠という。）に記入する文字は、光学式文字読取装置（OCR）で直接読取りを行うので、汚したり、穴をあけたり、必要以上に強く折りまげたり、のりづけしたりしないでください。

※印の欄は記入しないでください。（職員が記入します。）

◎裏面の注意事項を読んでから記入してください。

折り曲げる場合には（◀）の所を谷に折りさらに２つ折りにしてください。